

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1						電子カルテシステム	
1	6					DWH	
1	6	1				基本機能	
1	6	1	1	1		DWHシステムは、専用のデータベースを構築すること。	○
1	6	1	1	2		DWHシステムは、電子カルテと同一のユーザを登録できるよう管理用ツールを提供、または電子カルテのユーザマスタと連動する仕組みを持つこと。	○
1	6	1	1	3		DWHシステムに格納されたデータに対して、さまざまな加工を行い、複合的なデータを作成する機能があること。	○
1	6	1	1	4		DWHシステムは、複数のシステムのデータを格納し、データの利活用ができる機能であること。	○
1	6	1	2			システム連携	
1	6	1	2	1		電子カルテシステム／オーダーリングシステムのデータを蓄積できること。	○
1	6	1	2	2		医事会計システムのデータを蓄積できること。	○
1	6	1	2	3		手術部門システムを接続できること。	○
1	6	1	2	4		DPC調査データ（Dファイル、EFファイル/入外、様式1ファイル、Hファイル）／医科レセプトデータ（社保/国保）を取り込むこと。	○
1	6	1	2	5		ユーザ操作によりCSVファイル／Excelファイルを取込み、DWHシステム内に蓄積出来る機能を有していること。	○
1	6	1	3			データ集計機能	
1	6	1	3	1		DWHシステムに蓄積された情報から、自由に集計情報を引き出す為の集計機能を有すること。	○
1	6	1	3	2		集計情報を作成する上でデータ項目を選択し、ドラッグアンドドロップにて行項目／列項目／集計項目に設定できること。また、集計イメージを確認した上で、集計実行や条件保存が出来ること。	
1	6	1	3	3		集計機能はすべての電子カルテ端末利用可能であり、DWHシステムの利用者数/同時接続数に制限がないこと。	○
1	6	1	3	4		集計対象情報はユーザーが所属する任意の管理グループ毎に利用権限が設定可能なこと。またユーザーは複数の管理グループに所属ができること。	○
1	6	1	3	5		集計設定はユーザー毎に作成、編集して条件を保存することが可能であること。また、利用者間で共有が可能であること。	○
1	6	1	3	6		集計表の縦横項目は、日付形式、文字形式、数値形式のデータが扱えること。	○
1	6	1	3	7		日付形式の項目には、年次、月次、日次、曜日、半期、四半期の単位で集計が行えること。	
1	6	1	3	8		日付形式の項目には、集計範囲の開始日、及び終了日が指定できること。	○
1	6	1	3	9		文字形式の項目に対しての一致基準は、完全一致、前方一致、後方一致、除外条件での設定が可能であること。	○
1	6	1	3	10		集計結果のファイル出力は、ユーザーが所属する任意の管理グループ単位毎に可否が設定できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様						必須
1	6	1	3	11	集計結果からドリルダウンし、指定された行列の条件を構成する詳細情報の表示を可能にすること。	
1	6	1	3	12	ドリルダウンされた詳細情報は、CSVファイル/Excelファイルに出力が可能となること。	
1	6	1	3	13	ドリルダウン機能は、ユーザーが所属する任意の管理グループ単位毎に可否が設定できること。	
1	6	1	3	14	集計結果を、CSVファイル/Excelファイルにて任意のフォルダに日時/曜日指定を行い、自動出力を行えること。	○
1	6	1	3	15	ユーザー操作により、集計結果から日時/曜日指定で指定様式のExcelフォーマットへ自動転記できること。	○
1	6	1	3	16	集計表に対して、簡易な操作で各種グラフ（棒グラフ/折れ線グラフ）表示が行えること。	○
1	6	1	3	17	集計表の利用頻度が高いものをリストから呼び出せること。	○
1	6	1	3	18	DWHに存在するデータから、病院管理や臨床分析等を目的とした集計設定やデータ検索設定を数量5を目処に作成期間1人月を超えない範囲で、初期導入すること。但し、初期導入する集計設定及びデータ検索設定は当センターと協議をして決定するものとする。	○
1	6	1	4		データ検索機能	
1	6	1	4	1	DWHシステムに蓄積された情報や参照可能な情報を検索の対象として利用できること。	○
1	6	1	4	2	検索機能はすべての電子カルテ端末利用可能であり、DWHシステムの利用者数/同時接続数に制限がないこと。	○
1	6	1	4	3	検索対象はユーザーが所属する任意の管理グループ毎に利用権限が設定可能なこと。またユーザーは複数の管理グループに所属ができること。	
1	6	1	4	4	検索対象に対して、単一項目または複数項目の条件指定ができること。	○
1	6	1	4	5	検索項目は、日付形式、文字形式、数値形式のデータが扱えること。	○
1	6	1	4	6	検索結果は、昇順/降順にソート出来ること。	○
1	6	1	4	7	日付形式の項目には、開始日、終了日が指定できること。	○
1	6	1	4	8	日付形式の項目には、「～以前」、「～以降」の指定ができること。	○
1	6	1	4	9	文字形式の項目に対しての一致基準は、部分一致、完全一致、前方一致、後方一致、ワイルドカードでの設定が可能であること。	○
1	6	1	4	10	数値形式の項目に対しての一致条件として、閾値の範囲設定が自由に設定できること。	○
1	6	1	4	11	複数の条件に対して、AND条件、またはOR条件の指定が可能なこと。 また、複数の条件に対して、(A and B) or (C and D)のような柔軟な条件設定が可能なこと。	○
1	6	1	4	12	検索条件として、Null検索が可能なこと。	○
1	6	1	4	13	検索結果に対して、クリック操作のみで集計項目/集計値を設定し簡易集計を行えること。	
1	6	1	4	14	検索結果を、CSVファイル/Excelファイルにて任意のフォルダに日時/曜日指定を行い、自動出力を行えること。	○
1	6	1	4	15	DWHシステムに蓄積された情報を検索する際には、プレビュー表示させデータ内容を確認しながら条件設定が行えること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1	6	1	4	16		検索プレビュー画面から、列項目をドラッグにて項目の並び替えが出来ること。	
1	6	1	4	17		ユーザー操作により、検索結果の出力ファイルから日時／曜日指定で指定様式のExcelフォーマットへ自動転記できること。	○
1	6	1	4	18		検索設定はユーザー毎に作成、編集して条件を保存することが可能であること。また、利用者間で共有が可能であること。	○
1	6	1	5			ユーザ管理機能	
1	6	1	5	1		管理者ツールにおいて、DWHシステムに蓄積したデータに対する集計・検索の利用権限を設定できること。また集計機能・検索機能を利用するユーザーの権限設定ができること。	○
1	6	1	5	2		データのファイル出力可否の設定をデータ単位、および管理グループ単位で設定できること。	
1	6	1	5	3		テーブル等の単位／コンテンツに対して、個別にアクセス権限を設定できること。 アクセス権限は以下のレベルで設定できること。 ・ 閲覧のみ ・ 閲覧／出力のみ ・ 閲覧／出力／コンテンツ作成	○
1	6	1	5	4		ユーザーが一定時間操作が行わない場合に自動ログアウトされること。またログアウトの時間を指定できること。	